

## 第2回 医療介護連携実務者研修会

開催日2018/7/26

### 『私達が明日から出来ること』 【 参加者の意見 】

- 1 自分の親にどうしたいのか聞いてみる。  
(庄原版の内容みたいなことをまずは身近な親からやってみる。)  
「庄原版の内容」を自分が書くためにに欲しい
- 2 自分のことを考えてみて、そのことを周りに伝えてみる。
- 3 仕事に生かす。(住民学習の内容にデータを活用した話し方で自分ごとに)
- 4 遠方の家族・身寄りない独居の方の支援に、病院、入院Pt、地域の力は大切。  
家族も地域とつながる声かけを意識する。
- 5 病院に入院してからのつながりをつくるのは難しい。  
帰る場所を意識したアプローチ、話す場面持つ。
- 6 自分も地域の住民だという事を意識して暮らす。
- 7 親と同居だと地域で接する機会が無い。
- 8 女性会へ入っているが、無い地域もある。
- 9 町内会未加入者へ冷たい地域もある。
- 10 地域の役の人の顔や名前も分からない。  
何かに参加して繋がりを持つことが必要だが、受け入れる側に温度差がある。
- 11 昔ながらの地の人だとつながりが多いが、若い人は難しいのかも。
- 12 あいさつをする。
- 13 自分のことを自分で考えていく働きかけ。
- 14 親の事として兄弟や友人に話す。
- 15 地域の困り事を周りに投げかけてみる。
- 16 自分のエンディングノートをつくる。
- 17 有事の時の対処を回りに発信していく。
- 18 自分の周りでの出来事を気にして見てみる。
- 19 院外に出て体操などを行う。 地域に出ていく。
- 20 患者、家族のいつもと違うこと等を地域の関係機関と連携をとる。
- 21 包括、ケアマネージャーと連携をとる。
- 22 昔ながらのご近所付き合いが安否確認になる。(声かけ、おすそ分けなど。)